

令和7年6月7日

令和6年度 ポニーの会 事業報告

はじめに

令和6年度は「障害者総合支援法」の大幅な見直しが行われ、当施設もその内容を受けてサービス提供時間の変更など柔軟な対応を行いました。制度改正に対応しながら、利用者一人ひとりにとってより良い支援が行えるよう、職員一同で意見を出し合い、取り組んでまいりました。

さらに、施設ハード面においても大きな転機がありました。老朽化が進んでいた「ポニーの家多機能」については、建て替え工事を実施し、より安全で快適な環境づくりに向けた整備を行いました。新しい施設での支援が開始され、利用者の皆様にとっても安心して過ごせる空間が提供できていると実感しております。

今後も引き続き、社会情勢の変化や制度の動向を見据えながら、利用者とそのご家族にとって信頼される施設であり続けられるよう、努力してまいります。

I. 本部

令和6年度の本部重点項目は（１）「障害者総合支援法改正施行後3年」の見直しによる改善点、（２）旧棟建て替え工事、（３）人材不足解消のための福利厚生の実施の3点でした。

（１）「障害者総合支援法施行後3年」の見直しについて

- ・生活介護サービスにおいてサービス提供時間に応じた基本報酬の見直しがなされ、当法人も令和6年5月から、9：00～16：00のサービス時間を9：10～16：20に変更した。
- ・食事提供時における栄養面で配慮を行う要件として、管理栄養士又は栄養士の配置が必要になり、当法人も令和6年から栄養士1名を配置した。

（２）旧棟建て替え工事について

- ・工事着工：令和6年6月3日
- ・竣工：令和6年10月31日
- ・施設規模及び構造：軽量鉄骨ブレース構造 264.16㎡
- ・建物名称：ポニーの家多機能棟

（３）人材不足解消のための福利厚生の実施について

- ・従業員の健康増進と健康管理に取り組むために QOL プランナーに依頼し、定期面談及び部署ごとミーティングを実施し、従業員が健康で生き生き仕事に取り組めるようにした。令和6年度中の入職者2人退職者は0人だった。

II. 施設運営概況報告

（1）本部

① 会議

I. 評議委員会・・・開催日 5/25、3/20

計2回

II. 理事会・・・開催日 5/18、11/12、12/24、3/20

計4回

Ⅲ. 外部会議に参加

取手市社会福祉協議会（理事会・共同募金委員会・企画委員会）・取手市自立支援協議会・高須地域運営委員会・南中地域の会

② 地域貢献活動の実績

サロン（毎週火曜日） 保護者、近隣住民が集まり手仕事を楽しむ場を提供

旧棟工事期間はケアホーム夢ホールにてサロン開催（6月～12月）

シルバーリハビリ体操（毎月1回） 保護者、近隣住民の健康増進に貢献

旧棟工事のため高須公民館会議室を借りて開催

近隣のお祭りに参加（高須公民館、藤代スカイハイツ、光風台団地、六郷公民館等）

高須公民館親子クッキー教室に講師として参加

③ 職員数

〈職員構成〉

正職員 20 人、非常勤職員 37 人、看護師 4 人、作業療法士 1 人、理学療法士 1 人、言語聴覚士 1 人、栄養士 1 人、厨房職員 7 人、ケアホーム世話人 7 人、カフェスタッフ 3 人、運転手 11 人
合計 93 人

(2) 利用者支援状況

① 各事業所定員

ポニーの家多機能	定員	登録	平均年齢	稼働率
生活介護	38 人	39 人	31.1 歳	82.8%
就労継続支援 B 型	10 人	10 人	28.5 歳	90.9%

ポニーの家生活介護	定員	登録	平均年齢	稼働率
生活介護	20 人	26 人	35 歳	97.3%

ケアホーム夢未来	定員	登録	平均年齢	稼働率
夢	7 人	7 人	37.4 歳	91.2%
未来	7 人	7 人	31.2 歳	86.9%

② 職員研修・職員としての意識向上。レベルアップのため各研修・講習会・会議に参加した

日時	名称	参加人数
4/19	R6 年度社会福祉施設長資格認定講習	1 名
5/14	竜ヶ崎圏域相談部会意見交換会	1 名
5/28	R6 サービス管理責任者研修（実践研修）	1 名
7/17. 18	R6 強度行動障害支援者養成研修	2 名
7/25	管理者講習	1 名
9/11. 12	強度行動障害支援者研修（実践）	1 名

9/14	県南エリア防災士会議	1名
10/3	R6 サービス管理責任者研修（基礎研修）	1名
10/3	クレーム対応効果研修	1名
10/9	苦情解決研修	1名
10/25	福祉現場における事業継続計画研修	1名
11/1	労務管理とコンプライアンス研修	1名
11/1	施設長実学講座（苦情・ハラスメント）	1名
11/18	感染症対策研修	10名
1/7	業務改善向上研修	1名
1/24, 27	労務管理セミナー（ハラスメント防止）	1名
1/28	業務効率化研修	1名
1/29	虐待研修	1名
1/31	発達障害者の意思決定支援研修	1名
2/17	身体拘束委員会	8名
合計		37名

I. 支援会議・・・利用者の関係支援員が集まり適宜対応を話し合った。

II. 職員朝礼、夕礼・・・職員の共通認識を図るために毎日、朝礼9時、夕礼4時25分に行った。

III. 給食会議（利用者会議）・・・開催日 毎月第3金曜日

IV. その他・・・主任会議、サービス管理責任者会議、ケアホーム会議、厨房会議、常勤会議

③ 見学者

特別支援学校の親子7組の方が、卒業後の進路先を決めるために見学にみえた。

その他、特別支援学校教師11名、特別支援学校中等部学生25名教師7名、他事業所の方5名が見学にみえた。

④ 建物・設備・車両等の保守管理状況

【車両】

キャラバン5・ハイエース1（10人乗り）・・・6台、リフト車（10人乗り）・・・2台

乗用車（7人乗り）・・・4台、助手席可動型軽自動車・・・2台、軽自動車・・・1台

軽貨物車・・・2台、軽トラック・・・1台、トラック・・・1台

計19台

※ノーマルタイヤからスタッドレスタイヤに交換、時期に応じて車検、車両故障のときには修理に出している。

【設備】

・カフェ・・・珈琲ミル買い替え、エスプレッソマシンリース契約を結ぶ、商品値上げのため看板交換、床清掃

・ケアホーム・・・夢・未来それぞれ便器交換、床清掃、外灯回路点検修理、水洗トイレシングルレバー修理

・ポニーの家・多機能棟建設にあたり洗濯機移動、厨房換気扇清掃各部屋床清掃、本棟給排水工事

※浄化槽の管理、各棟の床清掃、エアコン清掃・・・業者に依頼している。

Ⅲ. 事業別事業報告

【全体】

5月に小規模ではあるが、運動会を開催した。10月には、藤代公民館を借りて『陽気な催し物』を行った。12月にはイクスピアリへの遠足。3月にはポニーフェスティバルを開催するなど、利用者の皆さんが楽しめるようなイベントがたくさんあった。『陽気な催し物』では、保護者の方にも見に来ていただいた。ポニーフェスティバルでは、地域の方、利用者、保護者等たくさんの方が参加された。焼きそばやカレー、コーヒゼリーパフェ等の食べ物やワークショップ、ゲームコーナーも大いに盛り上がり、楽しい時間となった。

昨年12月から新しい建物になり、利用者みんなで引っ越し作業に取り組んだ。

また、機能訓練指導員（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）とも協力して、利用者に無理のない範囲で身体の向上・維持に努めてきた。

Ⅲ-1 【ポニーの家多機能】

1) 生活介護

作業や余暇活動をとおして、生活能力の向上と健康維持を目指し、基本的な生活習慣を身に付け、それぞれの能力や個性を十分に発揮し、社会参加の意識がもてるように支援して来た。

（内職請負作業部門）

ハンガーのシール剥がし・部品取り、工事用ベストの検品、アクリル板のシールはがし等の作業を中心に行ってきた。請負業者からの評価もあがってきたため、新たな作業にも挑戦できるようになってきた。それぞれの得意分野の作業を提供してきたが、納期等に余裕がある時は、色々な作業に挑戦したり、作業を選択してもらったりしながら能力の向上を図れるようにしてきた。また、週に2回30分～40分のウォーキングを行ってきたが、天気が悪い時には室内で身体を動かせるようにしてきた。

（クリーン・農業部門）

クリーン部門では高須体育館の受託清掃の他にも施設内清掃を中心に行ってきた。個々のペースを尊重し、みんなで作業に取り組めるように支援した。厨房の食洗作業の際には防水のエプロンを身に着け大鍋洗いや、ゴミまとめなど自分の役割を自信をもって行う姿がみられた。ホールや廊下、雨戸などの共有スペースが綺麗に保たれている。食洗作業には決まった利用者の他にもチャレンジできる環境を作り、力を発揮できるようにした。普段の清掃場所以外にも目を向け、ケアホーム夢未来の清掃にも取り組んだ。

農作業は職員販売用に季節の野菜を作った。種・苗から収穫するまでの工程を覚え、収穫・販売する喜びを感じられるように支援して来た。草取りや水やりなど畑の整備も行った。夏の暑い日は熱中症に気をつけ外での作業時間を調整しながら作業を行った。

内職部門・手工芸部門と一緒に週に2回30分～40分のウォーキング等を行ってきた。作業前には体操も行っている。

（手工芸部門）

多機能棟工事中は他の作業グループと一つの部屋をシェアして使ったりと不便なこともあったが、新しい多機能棟に引っ越ししてからは、明るく過ごしやすいと利用者さんにとっても好評だ。販売場所は新たに取手市役所の敷地内にあるつつじ園売店に6月より製品を置かせてもらえることになった。イベント販売は減少傾向にあるが、利用者さんの作業意欲を高めるためにも機会をとらえて参加し出荷するようにしてきた。また、自分たちで作った商品を実際に販売されている場所を見学に行き作業意欲を維持できるようにした。

（クッキー製造部門）

カフェや JA とりでの納品や、さとふる対応の為の製造を継続してきた。利用者のペースに合わせた支援を行うことで入室の時間が違ってもみんなが作業に関われるようにした。注文が落ち着いているときは必要な材料をみんなで買い出しに行った。またHPや外部からたくさんの注文をいただき、利用者さんの意欲につながった。

（パン製造部門）

金曜日の給食には自家製のパンを提供し、焼き立てのパンが喜ばれている。火曜日にサロンに参加されている方々もポニーのパンを購入できることを楽しみにしている。週に2回庁舎に持って行く用のパンも焼いている。

自分たちが作ったパンを楽しみに待っている方々のことを思い丁寧に作業する様に支援した。数回ではあるが新しい種類のパン作りにも挑戦した。

（売店・きまま部門）

藤代庁舎、喫茶きままを担当する利用者を今年度から庁舎売店では2名から5名に、利用者用の喫茶きままでは2名から3名に増やし、曜日ごとに担当し接客をした。最初は緊張している様子も見られたが、徐々に接客も上手になった。接客の態度や言葉遣いを身に付け、自信を持って接客できる様に支援した。

2) 就労継続支援B型

利用者の適性に応じて安定した能力が発揮できるよう、精神面や体調面に配慮して支援した。

（菓子製造部門）

個々の能力が発揮できる環境を整え、協力して作業に取り組めるように支援した。菓子を製造する過程の中で利用者同士声を掛け合う姿も多くみられるようになり、お互いに協力しあって作業することが出来るようになってきた。新しい建物で作業をすることになり、引っ越し作業を行った。物を置く場所等、みんなで相談しながら行った。

（カフェ部門）

取手駅前リボンとりで3階のPONY'S CAFEでは、利用者の働く場として食器洗いやランチづくり、接客等に携わった。5人以上の利用者が曜日を決めて日替わりでカフェの作業に携わっている。ポニーでも大きな声であいさつをしたり、利用者同士が丁寧な言葉遣いができるようにしたり練習を続けている。

（クリーン部門）

桜が丘自治会館の清掃を継続して行ってきた。外部での作業は、常に見られていることを念頭に置き

言動に気を付けながら丁寧な作業をした。また、給食後の食器洗浄作業も役割が決まっており、自分の役割をきっちりと果たすことができた。施設内清掃も行い、自分たちが使うスペースを常に綺麗にできるよう心掛けた。

Ⅲ-2 【ポニーの家生活介護】

（箸作業部門）

今年度も引き続き、アオトプラス（株）から受託した箸入れ作業に取り組む事が出来ました。箸入れやペーパースプーンの袋入れや、1枚の紙を袋に折り、作成してから箸を入れるといった複雑な工程の箸入れに取り組みました。利用者個人それぞれに取り組むやすい方法を考えて提供することや得意な場面を活かしながら作業を提供し、安定した納品数を確保することで、先方との良好な関係を築きました。沢山の商品に取り組むことで「お仕事に携わっている」という社会参加の喜びに繋がっていきました。作業のみならず、気分転換にも工夫を凝らし、お仕事と余暇のバランスを図る事で、日々の活動に活気が出るよう支援しました。他の活動班と合同で調理レクリエーションや、外出、体操なども提供し、運動機能の維持と利用者同士のコミュニケーションの場を作ることに配慮し、楽しい時間を過ごせるよう支援しました。

（生活ドルチェ部門）

個々のリハビリ計画に沿って、理学療法士や作業療法士によるリハビリをおこない身体機能の維持向上だけでなく専門的なアドバイスのもとに仕事や生活において、各々の力を引き出す支援の向上を目指し実施しました。日々のストレッチや運動が歩行状態の改善となるようご家族との連携も含め、支援に努めました。また、3ヶ月に1度おこなっていた歯科検診は定期的に実施、4名の利用者が利用した。歯科検診の結果、要治療となったケースは、ご家族に促しスムーズに医療機関に繋がったケースや、歯ブラシ指導も情報を共有し口腔内環境の改善に努めました。ミュージックケアや創作活動、散歩等を通し心豊かな生活を目指す支援を行った。力を合わせた創作作品を近所の公民館などに飾っていただくことで、地域との交流や充足感を感じていただけるような場面を設定しました。利用者個人の能力を生かした役割を検討し支援する事で、それぞれの社会参加の意欲を高める環境設定に努めました。それぞれの利用者が心穏やかに楽しく過ごし、日々の意欲につながる様支援しました。

（製本印刷部門）

パソコン作業の中で能力に応じて仕事を配分し、個々のスキルも向上するよう支援に努めました。職員や外注の名刺等を受注作成し、12月には年賀状印刷の注文を受け納品しました。また、施設内で使用するCD作成や写真の取り込みなども行っています。自ら責任をもって、自主的に動作チェックもこなして納品する「仕事」として自信を持って取り組んでいただいています。毎月の仕事として給食の献立表、検食表、フレンズの会の議事録などに取り組みました。他の活動班と合同で調理レクリエーションや、散歩活動、ストレッチや足浴等も取り入れ、仕事だけではなく身体機能へのアプローチやリラックス、楽しみも感じられるような活動を提供し支援しました。

（未来工房部門）

ボールペン・慶弔ペン封入を中心に進めながら、荷物運び・ペットボトル潰し・段ボール処理など他班や事務所のお手伝い等をおこなっています。作業に関しては難しい工程でも、一部職員がサボ

ートをしながら未来工房班全員が関わられるよう支援した。それぞれの能力を引き出せるよう、個人の能力を見極め、自信を持って作業に携われるよう環境を考えながら支援しました。時には、他の活動班との作業に参加し、個人に寄り添える環境にも配慮しました。また、余暇活動や、定期的な運動も積極的に行い、他の活動班との交流をはかり、心身の安定を図れるよう努めました。さらに、生活面の課題も見出し、身支度、手洗いなど利用者一人ひとりの目標や課題をご本人と繰り返し確認しながら、生活の質を維持し意欲をもって過ごせるよう提案し働きかけました。

Ⅲ-3 【ケアホーム夢未来】

7月に未来に新しい仲間加わり、満床となった。利用者に必要な支援を見極め、共同生活に慣れるようサポートしてきた。

個々の特性を受け取めながら、ウォーキングや、室内の運動器具を使い、健康維持を図って来た。また、歯磨きの仕上げ磨きに取り組み、口腔内の健康管理をしてきたが、嘱託医よりお褒めの言葉を頂いた。

休日は、桜や鯉のぼり、紅葉等、季節を感じながらの散歩やボーリング、カラオケに出掛けた。利用者が楽しみながらリフレッシュ出来る時間となるよう努めた。

平日には食器洗いや洗濯干し等のお手伝いを提供し、その人らしく自立した生活が出来るよう支援にあたった。

Ⅲ-4 【相談支援事業所キャンディ】

ポニーの家の利用者 65 名その他 56 名計 121 名の相談支援を担当した。

令和 7 年 4 月に取手市に基幹相談支援センターが開所された。取手市社会福祉協議会が運営する基幹相談支援センターと連携を図り支援方法を検討したり、基幹相談支援センター主催の勉強会に参加し研鑽した。また、まず基幹相談支援センターが第 1 窓口として相談を受け、その後キャンディにて相談支援を担当することとなった人が複数名いる。基幹相談支援センターが発足したことにより、利用者の「どこに相談したらいいかわからない」ということが解消され、速やかに相談支援事業所と繋がることのできるようになったと感じる。今後は一層、基幹相談支援センターをはじめとする関係機関との連携を強めることで質の高い支援を行なえるようになると思われる。